

日本語教室の華道教室が開かれました 体験しながら日本語の勉強も

清水繭子（広報青年部会）

華道というのは500年の歴史をもつ日本の伝統芸能のひとつです。生け花は私たちの心も華やかにしてくれます！

日本語教室部会あすなろ会の華道教室。水曜日の教室は6月14日（水）、サンロード津田沼5階和室にて開催されました。この日は田中先生の指導です。

参加者は23名。外国人学習者12名、ボランティア11名。他にスタッフとして日本語教室部会から3名参加してくださいました。参加者の出身国を尋ねてみると、台湾、中国、ブラジル、タイ、ベトナム、フィリピンで、そのほとんどの参加者が生け花初体験でした。

今回使用した花材は、枝物に「ソケイ」、花物に「すかしゆり」、葉物に「ドラセナ」「か

すみ草」と華やかな花材が用意されました。

生け花は、基本の道具である花ばさみ、剣山、花器を使います。

まず初めに花器に剣山を置く。次は枝物を剣山に刺す。そして花物、葉物を刺す。その順番です。花材の向きや、高さ、角度でバランスをみながら活けていきます。

参加者の皆さんは、終始笑顔で生け花に取り組んでいましたが、特に花材を刺す時の30度、45度といった「角度」の理解が難しいようでした。

終了後「体験しながら日本語の勉強になった。楽しかった」や「はじめて触れる剣山やお花が楽しかった」といった声を多数聞くことができました。



考えながら。難しいけど楽しそう



今回参加の学習者とボランティアのみなさん。前列中央が講師の田中さん